



日光市の大切な財産をわたしたち「語りべ」が語り継ぐ...

**日光語りべの会**

なかもと す み え  
**中本須美枝 代表**

毎月の勉強会と図書館での「民話・伝説の語り」を開催しています。また、在宅介護支援センターやグループホームの他、学童保育などでお話しをしています。県立博物館で開催する「栃木の民話語り」や「おじいさん、おばあさんの語り」にも参加しています。

**どのような活動を行っていますか？**

平成12年、修学旅行に訪れた小中学校の生徒に、日光の話をしたことが始まりでした。その後、少人数で活動していましたが、平成29年に柏村祐司先生(栃木県民話の会連絡協議会顧問)に指導を受け、同30年1月に13人のメンバーで「日光語りべの会」を発足しました。

**会の発足は？**

皆さんは、「語りべ」をご存じですか？ 昔話や民話・神話・歴史などを現代に語り継いでいる人っています。今月は、日光市の民話を語り継ぐ「日光語りべの会」の皆さんにお話を伺いました。

**民話語りとは？**

民話語りには、伝説と昔話があり、メンバーそれぞれに得意な分野があります。レパートリーもさまざまで、一番多いレパートリーを持つメンバーは約50話あります。

**語りべの魅力は何ですか？**

子どもの頃、「桃太郎」や「おむすびころりん」など、おばあさんから聞いた話をよく覚えています。素朴な話し方の中にも、魂のこもった真心が、言葉として子へ孫へ受け継がれていく...とても大切なことだと思えます。また、語りは対面で行うため、コミュニケーション力を養うこともできます。

さらに民話を学ぶ上で、改めて地域を知ることもあり、とても勉強になります。

**うれしかったことは？**

話を知っている高齢者は、「懐かしい」ととても喜んでくれます。また、初めて聞くお子さんも、目を輝かせて聞いてくれるので、自分たちの元気の源になります。

**今後の抱負は？**

日光市には、「山菅の蛇橋」や「戦場ヶ原」「追分地蔵」など、た

**インタビューを終えて**

くさんの伝説や昔話があります。もっと、皆さんに知ってほしいです。特に、若い方やお子さんに聞いてほしいですね。日光市は、伝統文化の宝庫です。私たちが日光の財産である、伝説や昔話を語り継いでいきたいと思っています。

「語りべ」...実際に目の前で拝聴すると、言葉の一つ一つが情景を映し出し、また、言葉の抑揚がとても心地よく、懐かしく感じられました。活字からは得られない、言葉の不思議な力を体感しました。メンバーの皆さんもとても明るく研究熱心で、勉強会では活発な意見交換が行われています。皆さんも、毎月図書館で開催される「民話・伝説の語り」へ、ぜひ足を運んでください。



「民話・伝説の語り」(今市図書館)の一幕

日光語りべの会と一緒に楽しく活動する方を募集しています。詳しくは今市図書館(☎22-6216)へお問い合わせください。